

2019年1月21日（月）



第58期（2019年3月期） 第3四半期決算説明会 （2018年4月1日～2018年12月31日）

代表取締役社長

最高経営責任者（CEO）

保木 潤一

常務取締役

営業本部長

山本 幸雄

執行役員

経営企画部 部長

川久保 秀樹

HOGY MEDICAL Co., Ltd.

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

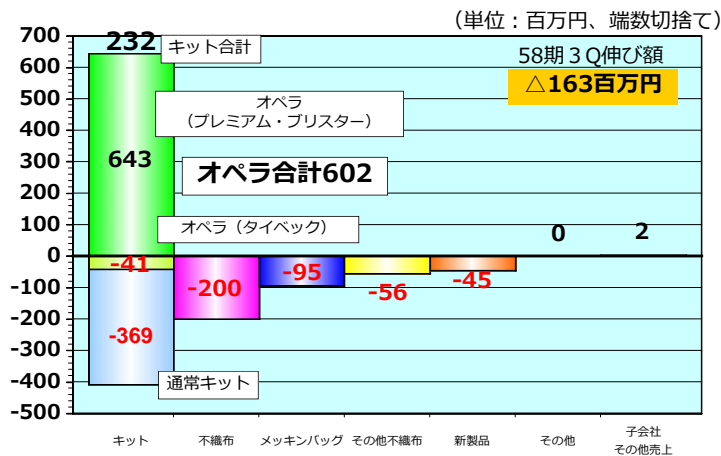
業績の概要

第58期（2019年3月期）第3四半期損益計算書

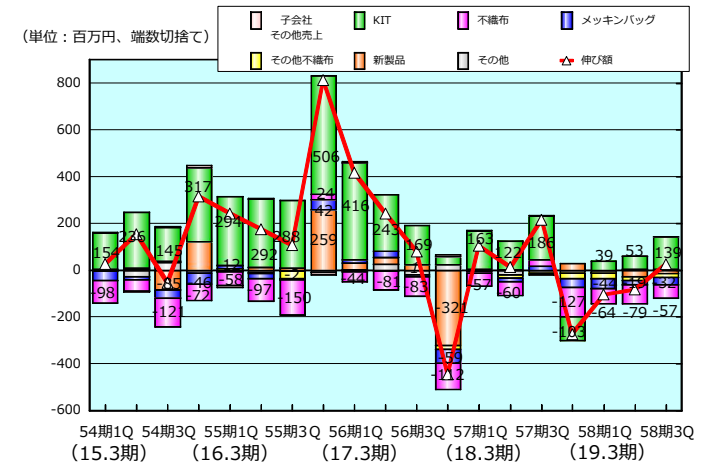
単位：百万円 切捨て	18.3 57期3Q実績		19.3 58期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	28,126		27,963		△163	99.4%
営業利益	4,243	15.1%	3,924	14.0%	△318	92.5%
経常利益	4,300	15.3%	4,024	14.4%	△276	93.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,594	16.3%	5,628	20.1%	1,034	122.5%
E P S	146.74円		184.15円			

* 2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。

第58期（2019年3月期）第3四半期
主な製品の売上高伸び額



第58期（2019年3月期）
四半期別売上高伸び額の内訳

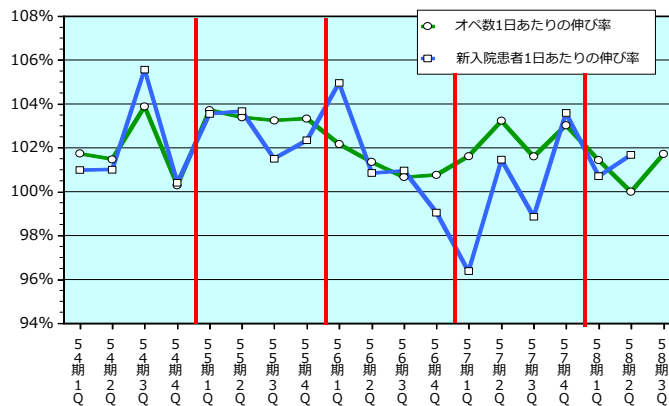


第58期（2019年3月期）第3四半期損益計算書

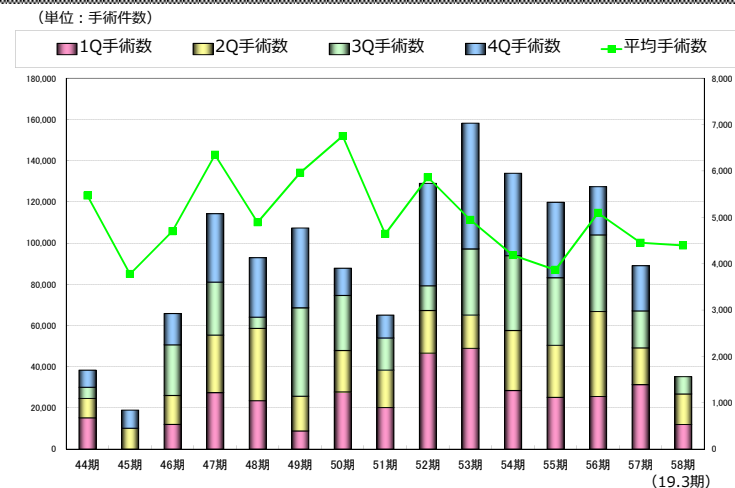
単位：百万円 切捨て	18.3 57期3Q実績		19.3 58期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	28,126		27,963		△163	99.4%
営業利益	4,243	15.1%	3,924	14.0%	△318	92.5%
経常利益	4,300	15.3%	4,024	14.4%	△276	93.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,594	16.3%	5,628	20.1%	1,034	122.5%
E P S	146.74円		184.15円			

* 2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と
新入院患者の伸び率/日



オペラマスター契約病院の手術件数推移





単位：百万円 切捨て	18.3 57期3Q実績		19.3 58期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	28,126		27,963		△163	99.4%
営業利益	4,243	15.1%	3,924	14.0%	△318	92.5%
経常利益	4,300	15.3%	4,024	14.4%	△276	93.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,594	16.3%	5,628	20.1%	1,034	122.5%
E P S	146.74円		184.15円			

* 2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。

■ 減収増益

■ 医療機関での働き方改革に対する意識が高まる

✓ 「労働時間の短縮」・「労力の軽減」・「トータルコストの抑制」がより一層求められるようになる

■ プレミアム・ブリストアキット売上高の成長

キット製品販売額の構成比（1Q：27.0%、2Q：33.6%、3Q：38.5%）

■ 他社との競合

■ オペラマスターは新規契約数が8施設、解約が12施設

✓ コンセンサスが取れずに、進捗していない病院の調整

✓ 今後も一定程度の解約を見込む

■ 新工場は順調に稼働：現在週5日の稼働（1.5交代）

■ 新工場の償却費が減少

■ 営業活動増加による見本費の増加

■ 保有していた一部株式の売却による特別利益の計上

■ HOGY Medical Asia Pacific Pte. Ltd.が営業活動を開始

✓ シンガポール、フィリピン

第58期（2019年3月期）経営計画



今後の施策

第58期 (2019年3月期) 損益計算書

8

単位：百万円 切捨て	18.3 57期実績		19.3 58期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,918		37,020		101	100.3%
営業利益	5,273	14.3%	3,620	9.8%	△1,653	68.6%
経常利益	5,380	14.6%	3,710	10.0%	△1,670	68.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,262	14.3%	5,350	14.5%	87	101.7%
E P S	168.04円		177.24円			

■ 医療機関での「働き方改革」のソリューションとして 「プレミアムキット」を展開

- [プレミアムキットの拡販](#)
- [純増（他社への攻勢と新規販売強化）](#)
- [プレミアムキット・プリスターキットの販売構成を50%に増加](#)

■ R-SUD事業へ向けて準備

- [製造プロセスの確立と許認可申請のための費用を投下](#)
- [年度内に数製品の許認可申請を予定](#)
- [第4四半期に費用の大半が集中予定](#)

■ 原価低減

- [償却費のピークアウト](#)
- [新工場への生産シフトの早期化](#)

■ 海外事業の拡大

- 「インドネシア中心の販売戦略」から日本以外の市場に販売展開を変更
- ASEAN各国での許認可を順次取得

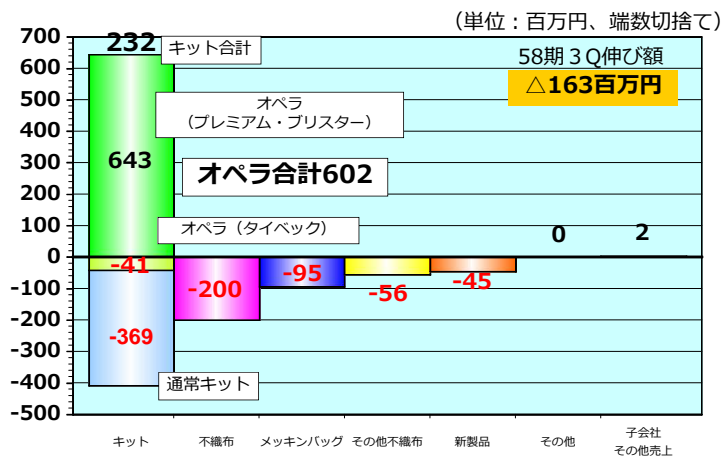
■ P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善

- 省力化、自動化推進（人件費が今後も増加傾向）
- インドネシア国内の販売強化、材料の内製化

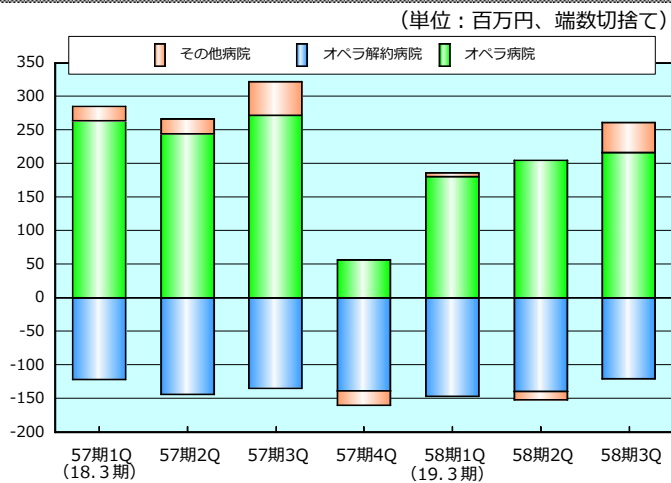
* 2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。

売上高実績の詳細と今後の計画

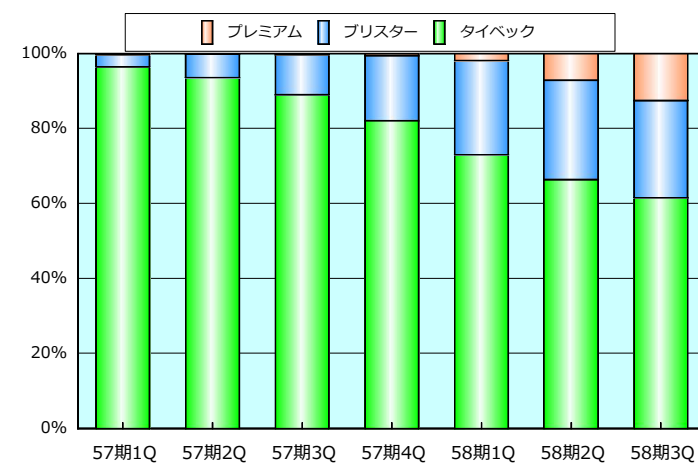
第58期（2019年3月期）第3四半期
 主な製品の売上高伸び額



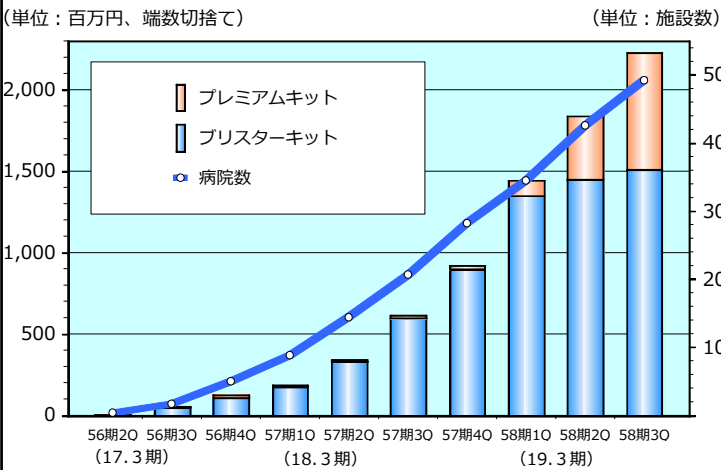
キット売上高増減額推移



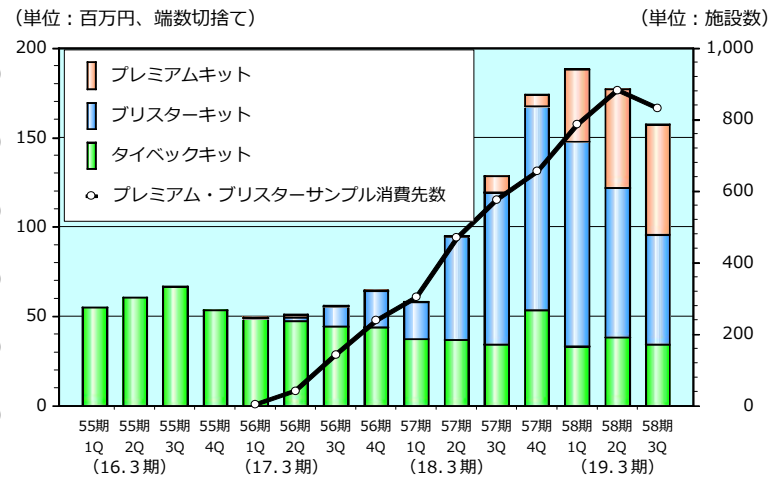
キット種類別販売構成比の推移



プレミアム・プリスターキット販売状況



キットサンプル額の推移



各種キットの定義について

	プレミアムキット	プリスターキット	タイバックキット (従来キット)
生産場所	新工場 (ムルチ)		筑波、美浦
製品形状	手技に合わせて小分けのパッケージにムルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違え、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の80%以上	1症例に必要な材料の80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満

オペラマスター進捗状況

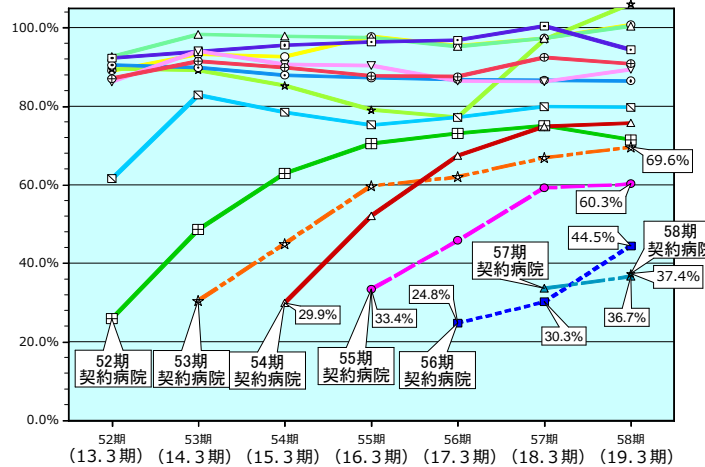
売上高：11,419百万円 (+602百万円：105.6%)

58期契約施設数：

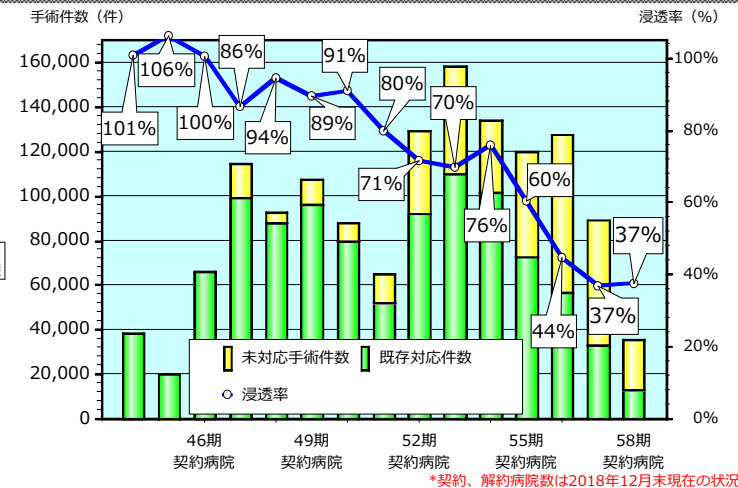
新規：8施設 解約：12施設

累計契約施設数：278施設

オペラ契約病院 浸透率推移



オペラマスター浸透率・手術件数 (契約期別)



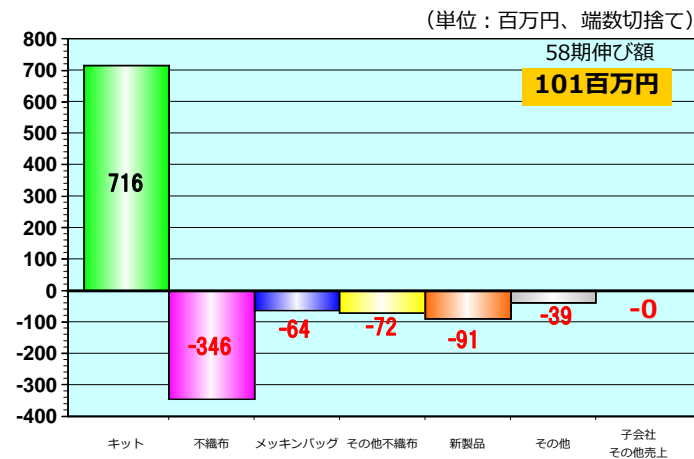
*契約、解約病院数は2018年12月末現在の状況

第58期（2019年3月期）主な製品の売上高増減額

第58期（2019年3月期）売上高計画



単位：百万円 切捨て	18.3 57期 実績	19.3 58期 修正計画	前年比	
			増減額	増減率
キ ッ ト	21,493	22,210	716	103.3%
不 織 布	9,186	8,840	△346	96.2%
メ ッ キ ン バ ッ グ	2,634	2,570	△64	97.5%
そ の 他 不 織 布	1,332	1,260	△72	94.6%
新 製 品	261	170	△91	64.9%
そ の 他	1,919	1,880	△39	98.0%
子 会 社 そ の 他	90	90	△0	99.7%
合 計	36,918	37,020	101	100.3%



キット成長戦略の定着

1. プレミアムキットの拡販
2. 純増（他社への攻勢と新規販売強化）
3. プレミアムキット・プリスターキットの販売構成を50%に増加
 - ・働き方改革へのソリューション提供、経営改善
 - ・競合他社との差別化、市場への定着、ノウハウの蓄積

- R-SUD事業開始に関する市場確認
- SCMに向けた戦略展開の市場確認



業績の詳細

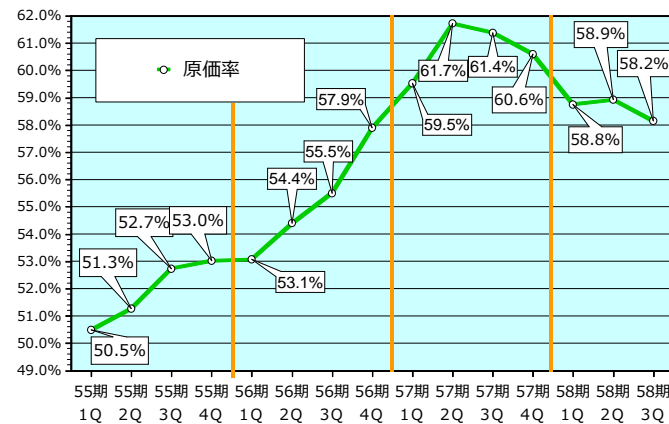
第58期（2019年3月期）第3四半期損益計算書

原価率推移

第58期（2018年3月期）第3四半期分析



単位：百万円 切捨て	18.3 57期3Q実績		19.3 58期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	28,126		27,963		△163	99.4%
売上原価	17,125	60.9%	16,388	58.6%	△737	95.7%
売上総利益	11,000	39.1%	11,574	41.4%	574	105.2%
販売費及び一般管理費	6,757	24.0%	7,649	27.4%	892	113.2%
営業利益	4,243	15.1%	3,924	14.0%	△318	92.5%
営業外損益	57		99		41	
経常利益	4,300	15.3%	4,024	14.4%	△276	93.6%
特別損益	2,203		3,995		1,791	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,594	16.3%	5,628	20.1%	1,034	122.5%
E P S	146.74円		184.15円			



原価率：前年比 2.3%pt改善

- 償却費の減少

販売管理費：前年比 892百万円増

設備投資：1,511百万円（前年比：94百万円減）

償却：4,156百万円（前年比：489百万円減）

- 原価：3,443百万円（前年比：527百万円減）

- 販管費：713百万円（前年比：37百万円増）

*2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。

第58期(2019年3月期)詳細計画

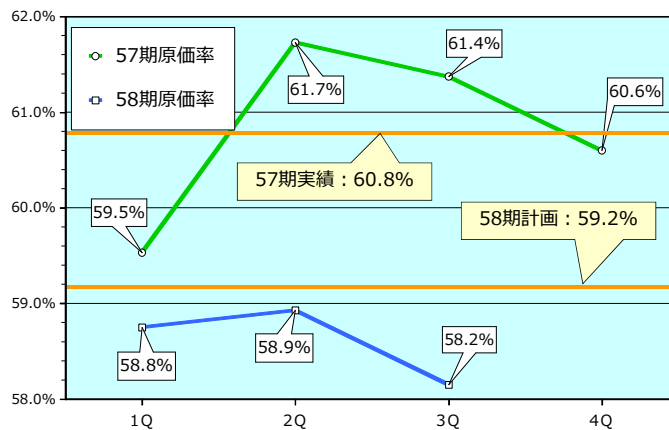


第58期（2019年3月期）損益計算書

第58期（2019年3月期）利益計画

単位：百万円 切捨て	18.3 57期実績		19.3 58期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,918		37,020		101	100.3%
売上原価	22,450	60.8%	21,920	59.2%	△530	97.6%
売上総利益	14,467	39.2%	15,100	40.8%	632	104.4%
販売費及び一般管理費	9,194	24.9%	11,480	31.0%	2,285	124.9%
営業利益	5,273	14.3%	3,620	9.8%	△1,653	68.6%
営業外損益	107		90		△17	
経常利益	5,380	14.6%	3,710	10.0%	△1,670	68.9%
特別損益	2,202		4,000		1,797	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,262	14.3%	5,350	14.5%	87	101.7%
EPS	168.04円		177.24円			

* 2018年4月1日より1：2分割しており、EPSは分割後の数字を想定して計算しております。



原価率：前年比1.6%pt改善 償却費の減少

販売管理費：前年比2,285百万円増

試験研究費、許認可申請費用、人件費、見本費等の戦略費用に特化

設備投資：3,650百万円（前年比：1,507百万円増）

償却：5,670百万円（前年比：565百万円減）

・原価：4,670百万円（前年比：650百万円減）

・販管費：1,000百万円（前年比：85百万円増）

配当：64円（前年比：+2円）

* 2018年4月1日より1：2分割しており、配当額は分割後の数字になります。